

**日本分析化学会九州支部**

**支 部 ニ ュ ー ス**

---

---

**第 32 号 2015 年 8 月**

九州支部ウェブサイト

[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/)

2015 年度 日本分析化学会九州支部

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40

鹿児島大学大学院 理工学研究科 化学生命・化学工学専攻

# 支部活動報告

## ❖ 2015 年度 第 1 回常任幹事会 ❖

2015 年 6 月 20 日（土）、九州大学伊都キャンパスセンター2 号館 2107 号室において日本分析化学会九州支部 2015 年度第 1 回常任幹事会が開催されました。議事録は支部ウェブサイトに掲載しております。下記リンクよりご覧ください。

[http://www.jsac.or.jp/~jsac\\_kyushu/2015/15minute1.pdf](http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/2015/15minute1.pdf)

## ❖ 第 28 回 九州分析化学若手の会 春の講演会 ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部

世話人：九州大学大学院総合理工学研究院 藪下 彰啓

2015 年 5 月 16 日（土）、九州大学筑紫キャンパス筑紫ホールにおいて、第 28 回九州分析化学若手の会春の講演会が開催されました。支部長代理の挨拶に始まり、以下の 4 名の先生方にたいへん興味深いご講演をいただきました。講演終了後、次期 2016 年（第 29 回）の春の講演会世話人である吉田亨次先生（福岡大理）と、今夏開催予定の第 33 回夏季セミナー世話人である大平慎一先生（熊大院自然）から予告があり、引き続いて情報交換会を催しました。講演会には 72 名、情報交換会にも 19 名の参加者がありました。

### 講師・講演題目

- ・分析装置の中の分析化学  
（堀場製作所先行開発センター）青山 淳一 先生
- ・宇宙における有機物とその進化  
（九大院理）奈良岡 浩 先生
- ・蛋白質の拳動解析 -アミロイド線維からミトコンドリア膜融合まで-  
（久留米大分生研）伴 匡人 先生
- ・大気エアロゾル七面相・七変化 -福岡における観測から-  
（福岡大理・大気環境研）林 政彦 先生

## ❖ 2015 年度 九州分析化学会賞 ❖

選考委員会による審査の結果、九州大学大学院総合理工学研究院の原田明教授が 2015 年度九州分析化学会賞の受賞者に決定いたしました。受賞題目は「光ビーム照射で生じる諸現象の高感度・高精度計測に基づいた分子情報の未開拓領域探索法の探求」です。おめでとうございます！

原田先生には秋の支部講演会での講演をお願い致しますと共に、今後とも、九州支部の発展のためにお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

## ❖ 2015 年度 日本分析化学会奨励賞 ❖

2015 年度の日本分析化学会奨励賞に九州支部より九州大学大学院工学研究院の石松亮一助教が選ばれました。研究業績は「界面イオン移動および電極反応の分析化学的応用」です。今後の益々のご活躍を期待しております。

## ❖ 2015 年度 九州分析化学奨励賞 ❖

選考委員会による審査の結果、2015 年度九州分析化学奨励賞の受賞者は以下の 3 名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の発展と共に、分析化学会および九州支部への貢献を期待いたします。また、次年度も会員の皆様からの本奨励賞への積極的な応募をお願いいたします。

### 受賞者・受賞題目

- ・陳 思婧 君（九州大学大学院生物資源環境科学府）  
「High-sensitive detection of advanced glycated end-products and its application for the prevention of pre-diabetic diseases」
- ・玉嶋 江莉奈 君（福岡大学大学院薬学研究科薬学専攻）  
「生体成分分析のための新規前処理技術の開発とその応用」
- ・古賀 鈴依子 君（九州大学大学院薬学府）  
「NMDA 類縁化合物の二次元 HPLC 一斉分析法開発と生体内含量の解析」

❖ 第52回 化学関連支部合同九州大会 ❖

共催：(公社)日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部  
期日：2015年6月27日(土)～28日(日)  
会場：北九州国際会議場

\*同時に開催予定だった日本化学会九州支部設立100周年記念国際シンポジウム並びに第22回日韓交流シンポジウムは、MERSの影響により延期になりました。

分析化学関係の依頼講演

・井原 敏博 先生 熊本大学大学院自然科学研究科  
「DNA 構造の動的プログラミングに基づくバイオセンシング」

プログラム：

ポスターセッション(分析化学分野 9:00～10:00)

AC-1-0001～AC-1-0056)まで計56件

他のセッション等については、大会ホームページ(<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)をご覧ください。

2015年度九州分析化学ポスター賞の受賞者は、審査の結果以下の5名に決定いたしました。おめでとうございます。受賞者の皆さまには今後の更なる発展を期待いたします。

・兜坂 健太 君(九大院シス生命)

「プロテインキナーゼ活性解析のためのタンパク質固定化金ナノ粒子の開発」

・青木 関 君(九大院総理工)

「深紫外励起光熱変換ヘテロダイナミクス検出を用いた無標識アミノ酸の微量・高感度分離分析法の開発」

・清弘 麻佑 君(北九州高専)

「非特異的吸着物除去能を有するペプチド固定化酸化チタン基板の開発」

・野崎 晃広 君(熊本大院自然)

「機能性DNA複合体を反応場とする触媒系の構築」

・奥田 浩史 君(北九州市大院国際環境工)

「光ファイバーのアンモニアガス検知のための光架橋ナノ組織化薄膜の設計」

❖ 機器分析ワークショップ  
— 新技術・インハウスセミナー — ❖

主催 日本分析化学会九州支部  
協賛 (株)ジェイ・サイエンス・ラボ  
(株)ジェイ・サイエンス西日本

テーマ：新技術 ICP 用気体試料導入システムについて、システムガスクロマトグラフの応用事例紹介  
日時：平成27年7月7日(火)13:30～16:00  
開催場所：三菱重工(株)研究所(長崎市深堀町5-717-1)  
講師：西口 講平 先生

(株)ジェイ・サイエンス・ラボ(技術部)

講演題目

- ・新技術 ICP 用気体試料導入システムの紹介
- ・気体試料中水分自動測定装置(EasyAqua)の紹介
- ・システムガスクロマトグラフの応用事例紹介
- ・鋼材中水素測定システムについて
- ・ガス透過率測定装置について

問合せ先：(株)ジェイ・サイエンス西日本 川上 健次  
松尾 隆司

TEL：092-611-9161 FAX：092-611-9165

❖ 第33回 九州分析化学若手の会 夏季セミナー ❖

主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部  
期日：2015年7月24日(金)～25日(土)  
会場：亀屋ホテル華椿(熊本県上天草市)  
内容：分析化学に関する若手研究者間の勉強会、講演

○招待講演1：大津 直史 先生

(北見工業大学 機器分析センター)

「その場処理 XPS 分析を利用した表面反応の精密解析」

○招待講演2：水口 仁志 先生

(山形大学大学院理工学研究科)

「トラックエッチ膜フィルター電極を搭載したフロー電解セルの開発と化学分析への応用」

○九州分析化学奨励賞授与式・受賞講演

○九州分析化学ポスター賞受賞者模範ポスター発表

○一般ポスター発表：(審査の結果、7名の方が九州分析化学若手賞(ポスター賞)に選出されました。)

○総会

○情報・意見交換会

世話人：熊本大学大学院自然科学研究科 大平 慎一

7月24(金)～25日(土)の日程で、第33回九州分析化学若手の会夏季セミナーを亀屋ホテル華椿にて開催いたしました。今年は、26研究室/団体から126名の参加がありました。

初日は、2件の招待講演から始まりました。大津直史先生、水口仁志先生の2名の先生方より、招待講演をしていただきました。先生方の研究を理解する上で欠かせない基本から先端の研究まで、初学者にもわかりやすい講演をしていただきました。次に、第52回化学関連支部合同九州大会においてポスター賞を受賞された以下の5名の方より模範ポスターによりはじまりました。良いポスター発表をするための工夫についても、説明がありました。座長していただいた先生方、どうもありがとうございました：井上先生(大分大)、岸川先生(長崎大)、田中先生(九大)、松浦先生(熊大)、末田先生(九工大)

「プロテインキナーゼ活性解析のためのタンパク質固定化金ナノ粒子の開発」

(九州大学工学研究院) 兜坂 健太 君

「深紫外励起光熱変換ヘテロダイナミクス干渉検出を用いた無標識アミノ酸の微量・高感度分離分析法の開発」

(九州大学大学院総合理工学府) 青木 開 君



招待講演 大津 直史 先生(北見工大)



招待講演 水口 仁志 先生(山形大)

「非特異的吸着物除去能を有するペプチド固定化酸化チタン基板の開発」

(北九州工業高等専門学校生産デザイン工学専攻)

清弘 麻佑 君

「機能性 DNA 複合体を反応場とする触媒系の構築」  
(熊本大学大学院自然科学研究科) 野崎 晃広 君

「色素分子を修飾した U 字型光ファイバーのアンモニアセンサの設計」

(北九州市立大学大学院国際環境工学研究科)

奥田 浩史 君

上記の模範ポスターの後、一般ポスター発表を行いました。今回、67件の発表があり、参加者全員による審査の結果、以下の7名が九州分析化学若手賞(ポスター賞)を受賞されました。

俵口 真衣 君(九州大学大学院農学研究院)

平崎 直人 君(九州大学大学院農学研究院)

城市 大勢 君(九州大学大学院工学研究院)

才津 裕子 君(九州大学大学院薬学研究院)

佐藤 裕 君(九州大学大学院薬学研究院)

角地 優子 君(北見工業大学大学院工学研究科)

西山 寛華 君(熊本大学大学院自然科学研究科)

ポスター発表、休憩の後の夕食では、各研究室の趣向を凝らした愉快的な研究室紹介がありました。



模範ポスター講演



九州分析化学若手賞受賞者

会場の亀屋ホテル華椿様のご厚意で、情報交換会の会場をご用意いただき、夕食後は、夜遅い時間まで、大学をこえて、熱い議論がかわされておりました。また、今年は、エルガラボウォーター様からのご厚意により、会場で超純水装置による水割を提供いただきました。

2日目は、若手の会総会、九州分析化学奨励賞授与式の後、九州支部奨励賞を受賞された3名の方による講演を行いました。さすが受賞者と思わせる完成度の高い発表でした。3名とも女性であり、また中国からの留学生もおられ、英語での発表でした。

「生体成分分析のため新規前処理技術開発とその応用」

(福岡大学薬学研究科) 玉嶋 江莉奈 君

「High-Sensitive Detection of Advanced Glycated End-Products and its Application for the Prevention of Pre-Diabetic Diseases」

(九州大学大学院生物資源環境科学府) 陳 思婧 君



陳 思婧 君



玉嶋 江莉奈 君



古賀 鈴依子 君

九州分析化学奨励賞  
受賞講演

「NMDA 類縁化合物の二次元 HPLC 一斉分析法開発と生体内含量の解析」

(九州大学大学院薬学研究府) 古賀 鈴依子 君

昨年に引き続き、ベスト質問賞をもうけて、学生からの質問を奨励したところ、質問時間をオーバーするほどの数多くの質問が寄せられました。質問のレベルが概して高く、頼もしいかぎりでした。以下の3名が、質問賞を受賞されました。

上田 祐生 君 (佐賀大学大学院工学系研究科)

福田 瑞穂 君 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

八坂 直幸 君 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)



ベスト質問賞受賞者

本年度の夏季セミナーの運営に際して、九州支部からの助成に加え、加藤科学振興会、日本教育弘済会熊本支部及び多数の企業から助成金や広告費としてご支援して頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。スケジュール作成の際、会場までの数少ない電車の時間を確認しておらず、開始まで長い時間お待ちいただくなど、いろいろな不手際により、皆さまにご不便をおかけいたしました。大過なくおえることができました。皆さまのご協力に深く、感謝申し上げます。来年は、九州工業大学の末田先生がお世話をされ、天ヶ瀬温泉(大分県日田市)で開催される予定です。また多くの方にご参加いただきますよう御願いたします。

世話人 熊本大学大学院自然科学研究科 大平 慎一



第 33 回九州分析化学若手の会夏季セミナー 参加者集合写真

❖ 第 56 回 分析化学講習会 ❖

主催 日本分析化学会九州支部

共催 福岡市、九州大学学術研究都市推進機構、日本化学会九州支部、電気化学会九州支部、日本薬学会九州支部、日本食品科学工学会西日本支部、日本農芸化学会西日本支部、日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部、日本臨床化学会九州支部、日本水環境学会九州支部、福岡県環境計量証明事業協会

期日 8月5日(水)～7日(金)

会場 福岡市産学連携交流センター

(〒819-0388 福岡市西区九大新町 4-1)

九州大学伊都キャンパス

(〒819-0395 福岡市西区元岡 744)

講義 (8月5日, 9:30～17:00)

1. ガスクロマトグラフィー

(九大院農) 下田 満哉 先生

2. 高速液体クロマトグラフィー

(九大院薬) 浜瀬 健司 先生

3. 原子スペクトル分析

(九環協) 天日 美薫 先生

(九大院理) 横山 拓史 先生

実習 (8月6日～7日, 9:30～16:30,

各日1コース、2日間で計2コースを選択)

1. ガスクロマトグラフィー (GC)

(九大院農) 下田 満哉 先生

(九大院農) 井倉 則之 先生

- A. 化合物の同定 (保持指標)
- B. 定量分析 (内標準法)
- C. 試料導入法 (スプリット法、スプリットレス法)
- D. 香気成分のサンプリング (固相マイクロ抽出法)
- E. 食品の香気成分分析 (GC-MS 法)

2. 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

(九大院薬) 浜瀬 健司 先生

(福岡大薬) 巴山 忠 先生

- A. 逆相HPLCの基礎実習と実試料分析
- B. HPLC機器の内部構造とメンテナンス
- C. HPLC用超純水製造装置
- D. 超高速全自動プレカラム誘導体化アミノ酸分析
- E. 簡易固相抽出器による自動ハイスループット前処理
- F. 逆相モード、HILIC モードを用いた低分子化合物の分離～汎用から最新の高速分析カラムまでのカラム選択～
- G. 多次元 HPLC システムによる高分解能分析
- H. イオンクロマトグラフィーによる水、大気などの環境分析ならびに各種品質評価
- I. 卓上小型MS検出器ACQUITY QDaを用いる新感覚LC-MS分析
- J. 分取・精製クロマトグラフィー/円二色性検出器を用いたキラル分離

3. 誘導結合プラズマ質量分析法 (ICP-MS)  
 (九環協) 天日 美薫 先生
- A. 固相抽出法による模擬海水試料の前処理
  - B. 固相抽出の実習 (工業廃水: Cr(VI)分子認識固相)
  - C. マイクロピペッターの精度管理とメンテナンス
  - D. ICP-MS 法による金属分析・固相抽出等による試料の前処理
4. X線分析の講義と実習 (X-ray) (8月6日のみ)  
 (福岡大理) 栗崎 敏 先生
- A. X線分析 (回折、蛍光 X線分析) の基礎に関する講義と測定及びデータ解析
5. 電子顕微鏡分析の講義と実習 (EM) (8月7日のみ)  
 (九大院理) 宇都宮 聡 先生
- A. 電子顕微鏡分析 (SEM と TEM) の基礎に関する講義と SEM による試料観察

ランチョンセミナー(8月6日~7日 12:00~13:00)  
 情報交換会 (8月6日、16:45~18:45、九州大学伊都キャンパス)

使用機器 日立ハイテクサイエンス、サーモフィッシャーサイエンティフィック (ジェイサイエンス西日本)、東ソー、島津製作所、日本分光、資生堂、日本ウオーターズ、ジーエルサイエンス、エムエス機器、オルガノ、メルクミリポア

参加費 主催・共催会員 35,000 円、  
 会員外 45,000 円、学生 15,000 円

問合先 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1  
 九州大学大学院理学研究院化学部門  
 実行委員長 横山 拓史(TEL&FAX: 092-642-3908)  
 副実行委員長 岡上 吉広(TEL&FAX: 092-642-3911)

8月5日から8月7日にかけて、第56回分析化学講習会が福岡市産学連携交流センターおよび九州大学伊都キャンパスで開催されました。参加者は延べ60名で例年とほぼ同様であり、西日本全域から多くの企業や団体から参加いただきました。

初日の講義 (1. ガスクロマトグラフィー (GC)、2. 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)、

3. 原子スペクトル分析(AAS))は福岡市産学連携交流センターの多目的ホールで行われました。講師は下田先生 (九大院農)、浜瀬先生 (九大院薬)、横山 (九大院理) と天日先生 (九環協) が担当しました。ランチタイムに、九州大学学術都市推進機構および福岡市産学連携交流センターの「分析・解析よろず相談室」の紹介もなされました。

2日目はGC、HPLC、ICP-MSの実習に加えて、今年初めてX線分析(X-ray)の講義と実習が実施されました。これは前記した3つの科目と異なり、8月6日のみ実施されました。受講生数は7名でした。なお、X-rayは栗崎先生(福岡大理)に担当いただきました。ランチタイムにはオルガノさんによるランチョンセミナーが開催されました。また、実習終了後には情報交換会が開催されました。受講生全員、講師、実習講師や各企業の技術指導員ら約90名が参加しました。まず、現支部長の肥後先生(鹿児島大学)、続いて次期支部長の竹中先生(九工大)からご挨拶をいただきました。講師と実習講師、各会社の技術指導員の方々に各ブースに待機していただき、そこへ受講生が相談に行くというスタイルで情報交換会が行われました。このスタイルは今年初めての試みです。活発な議論や実質的な情報交換がおこなわれたと感じています。その様子を写真に示しています。

3日目は、GC、HPLC、ICP-MSの実習に加え、電子顕微鏡分析(EM)の講義と実習が行われました。EMは、8月7日のみ実施されました。受講生は6名でした。なお、EMは宇都宮先生(九大院理)に担当いただきました。EMについては講義、実習ともに福岡市産学連携交流センターで行われました。ランチョンセミナーはメルクミリポアさんをお願いしました。例年、ランチョンセミナーは、水や溶媒を取り扱われているメルクミリポアさんとオルガノさんに実施していただいています。水や溶媒は機器分析にとって最も重要な部分であり、大変意義深い企画であると考えています。3日目の実習終了後には、HPLCの修了試験が実施されました。これは、日本分析化学会認定資格である「HPLC分析士」の試験免除が認められるものであり、関東地区以外では唯一、九州支部の分析化学講習会で実施されています。受験は任意ですが、HPLC受講者のほ

とんどが修了試験を受験し、参加者の積極性を感じた次第です。

第56回分析化学講習会をなんとか無事に終えることができました。これも関係された皆様のご支援のおかげです。最後になりましたが、ご参加いただいた受講生の皆様、ご協力いただきました幹事会社、協力会社様、ご助言、ご助力をいただきました九州支部の先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。  
[横山 拓史]



情報交換会の様子

# 行事案内

## ❖ 日本分析化学会第64年会 ❖

期日：2015年9月9日（水）～ 11日（金）

会場：九州大学伊都キャンパス

内容：

- ・依頼講演（口頭）
- ・一般講演（口頭、ポスター）
- ・若手講演（ビギナー口頭、ポスター）
- ・テクノレビュー講演（口頭）
- ・学会賞等授賞式、受賞講演
- ・研究懇談会講演
- ・特別シンポジウム、産業界シンポジウム
- ・ランチョンセミナー、
- ・懇親会、ミキサー

講演プログラムは下記ウェブページをご覧ください。

<http://conference.wdc->

[jp.com/jsac/nenkai/64/program/program\\_flash.html](http://conference.wdc-jp.com/jsac/nenkai/64/program/program_flash.html)

参加予約登録最終締切日：8月19日（水）14時  
ただしクレジット決済のみ、支払方法により締切日が異なります。詳細はウェブサイトをご覧ください。

講演要旨集発行日：8月26日（水）

### 【第2回アジア分析科学シンポジウム】

日時：9月9日（水）～ 10日（木）

### 【産業界シンポジウム】

日時：9月9日（水）～ 11日（金）

9月9日（水）午前

「産学官連携による産業界の分析課題解決」  
－大学・公的機関の分析技術の利用と展開－

9月9日（水）午後

「企業活動を最前線でリードする分析化学」

9月10日（木）

### 「九大伊都地区分析施設見学会」

- ・九州大学ナノテクプラットホームおよび九州大学中央分析センター
- ・超顕微解析研究センター
- ・福岡市産学連携交流センター（FiaS）

9月11日(金)午前  
「産業界交流ポスター」

【特別シンポジウム】

日時：9月9日(水)～11日(金)

＜第一部＞ 9月9日(水)午後

「病態解明のための生体機能イメージング法の新展開」(共催：文部科学省 先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム)

＜第二部＞ 9月10日(木)午前

「乱用薬物の実態とその健康リスク」

＜第三部＞ 9月11日(金)午前

「中性子をプローブする分析化学の新展開」

【付設展示会】

日時：9月9日(水)～11日(金)

会場：九州大学伊都キャンパスカーボンニュートラルエネルギー国際研究所1階ホール

【懇親会】

日時：9月10日(木) 18:30～20:30

会場：ホテル日航福岡(JR博多駅より徒歩5分)

参加費：予約：8,000円〔当日：10,000円〕

※予約・当日参加費ともに税込金額です。

【ミキサー】

日時：9月9日(水) 18:30～20:00

会場：九大ビッグサンド(年会口頭発表会場地区内)

参加費：予約：一般3,000円、学生1,500円〔当日：一般4,000円、学生2,000円〕

※予約・当日参加費ともに税込金額です。

【第6回生涯分析談話会講演会】

日時：9月9日(水) 16:00～17:00

講師：鎌田 薩男 先生(鹿児島大学名誉教授)

講演題目：現役時代の分析研究と現在の取り組み  
—鹿児島神社と菅原道真伝説—

懇親会：18:00～(KKR ホテル博多、会費：5,500円、マイクロバスの送迎あり)

問合先：

日本分析化学会第64年会実行委員会事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学大学院工学研究院応用化学部門

応用光化学研究室内

実行委員長 山田 淳

E-mail：64nenkai@mail.cstm.kyushu-u.ac.jp

会場アクセス等詳しくは下記ウェブサイトおよび「ぶんせき」をご覧ください

[http://conference.wdc-  
jp.com/jsac/nenkai/64/index.html](http://conference.wdc-<br/>jp.com/jsac/nenkai/64/index.html)

❖ 支部招待講演会・見学会 ❖

2015年支部講演会・見学会は木下将和副支部長(京セラ株式会社鹿児島国分工場)が中心となり準備を進めています。本年度は、11月19日(木)～20日(金)の両日に、京セラ国分工場(鹿児島県霧島市国分山下町1-1)の予定です。今回の施設見学会では、国分分析センターの見学のほか、工場内の製造工程の見学も予定しております。以下に京セラ国分工場と分析センターをご紹介します。

～～ 京セラ国分工場ご紹介 ～～

京セラ国分工場は、北に霧島連山、南に桜島を望む鹿児島県の中央部に位置します。この工場は1972年10月より創業を開始し、現在では従業員数約4,400人、敷地面積39万㎡の規模を誇る京セラ最大の工場です。主な製品は、セラミック製多層基板、セラミックヒーター、積層セラミックコンデンサ、インクジェットプリントヘッド等のセラミック製部品です。



京セラ国分工場

分析センターは、セラミック材料の研究機関である総合研究所(1979年10月設立)に隣接しており、前身となる試験課を経て1987年2月に設立されました。現在では、鹿児島国分工場、鹿児島川内工場、滋賀野洲工場、滋賀蒲生工場、中央研究所の合計5

ヶ所に拠点を持します。中でも国分工場の分析センターが装置の保有台数も従業員数も最も多い拠点です。分析センターの役割は、研究開発部門に対しては「羅針盤」となることです。羅針盤とは開発の方向性を決めるための判断基準を示すもので、高度な分析技術により開発テーマの方向性やスピードアップに貢献することです。事業部に対しては、「ものさし」「知恵袋」となることです。繰返し精度の高い分析技術と、工程を踏まえた原因解析により良いものづくりに貢献することです。

主な手法としましては無機、有機、構造、表面分析や電気特性、物性評価、信頼性評価などの特性評価まで幅広く対応いたしております。近年は、工場で製造される製品や研究開発品の微小化・微細化にともない、微小・微量・高精度の分析技術が要求されており、分析技術開発課を中心に解決に取り組んでおります。



左上 走査電子顕微鏡 (SEM)  
 右上 有機分析  
 左中央 高分解能走査電子顕微鏡  
 右中央 ICP質量分析計  
 左下 FIB/SEM装置

**❖ 第28回バイオメディカル分析科学シンポジウム  
 (The 28<sup>th</sup> Symposium on Biomedical-Analytical  
 Sciences: BMAS2015) ❖**

期日：2015年8月21日(金)～22日(土)  
 会場：長崎大学文教キャンパス(長崎市文教町 1-14)

主催：日本薬学会物理系薬学部会  
 共催：長崎大学、長崎大学薬学部下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター  
 協賛：日本分析化学会九州支部、日本臨床化学会

内容：特別講演、シンポジウム、若手研究者シンポジウム、一般口頭発表、一般ポスター発表、製品等展示、ランチョンセミナー

問い合わせ先：〒852-8521 長崎市文教町 1-14  
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬品分析化学研究室内 第28回バイオメディカル分析科学シンポジウム事務局

TEL：095-819-2445  
 E-mail：[bmas2015@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:bmas2015@ml.nagasaki-u.ac.jp)  
 WEB：<http://bmas2015.jp/>

# 事務局より

## ❖ Analytical Sciences 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。Analytical Science 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGE によるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号の“Hot Article”選定と表彰、年間最多引用論文賞—“Most Cited Paper Award of Analytical Sciences”も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci. 誌へご投稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci. 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci. 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。また、「分析化学」などの他誌も可愛がっていただき、機会があればご投稿ください。

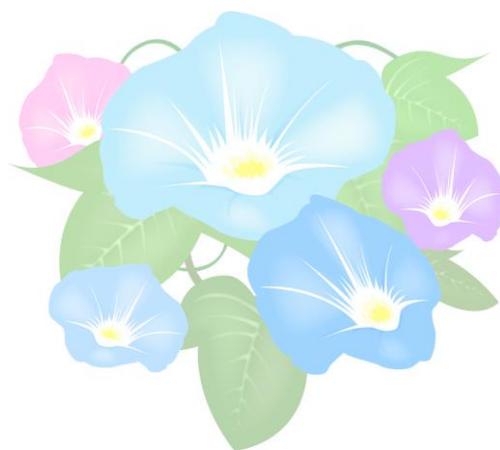
## ❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

## ❖ 編集後記 ❖

本年も支部ニュースは年2回の発刊を予定しております。昨年度より前期の支部ニュースの発行を8月中旬としました。これにより夏季セミナーと分析化学講習会のご報告を前期の支部ニュースに掲載できるようになり、タイムリーに情報を提供できるようになりました。

次の33号は2016年2月頃に電子版で配信致します。支部ニュースへのご意見、掲載されたい記事等がございましたらお気軽にご連絡ください。まだまだ残暑の日々が続きますが、どうぞ御自愛の上、お仕事・勉学に励んでください。(副支部長・財津)





2015 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒 890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40

鹿児島大学大学院 理工学研究科 化学生命・化学工学専攻

支部長	肥後 盛秀（鹿児島大学大学院理工学研究科） higo@apc.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8340/8342
副支部長	財津 慎一（九州大学大学院工学研究院） s-zaitu@cstf.kyushu-u.ac.jp / 092-802-2884
副支部長	木下 将和（京セラ株式会社鹿児島国分工場） masakazu.kinoshita.zs@kyocera.jp / 0995-46-8719
庶務幹事	満塩 勝（鹿児島大学大学院理工学研究科） mitsushio@cb.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8342
会計幹事	中島 常憲（鹿児島大学大学院理工学研究科） tsune@apc.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-8337/8339